

学校教育目標 やさしく、たくましい子どもの育成(やさしく、たくましく)

よく学ぶ よく遊ぶ 明るくあいさつ 黙って掃除

“子ども、保護者、地域、教職員、みんなが誇りに思い、楽しいと思える学校づくり”

〒801-0833 門司区清滝5-3-21 TEL 331-1708 FAX 331-1709 校長 三栗谷 進



梅雨明けしたとたん、毎日暑い日が続いています。

さて、熱中症で救急搬送された人が、昨年の倍のペースで増えているそうです。政府は7月を「熱中症予防強化月間」に指定して、「こまめに水分補給を」と呼びかけています。水筒のお茶の量は、ちょっと多めがよさそうです。

子ども達が楽しみにしている夏休みも、もうすぐそこです。

1学期間、保護者の皆様には、学校教育に対して深いご理解とご協力をいただきましたことに、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

充実した夏休みや実り多い2学期にしていくために、今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1学期中に身に付いた学習習慣や生活リズムを、夏休みの間でもできるだけ続けるようにしてください。長い夏休みの間、「遅寝・遅起き」など、生活リズムがつつい乱れがちになります。また、学習習慣も同様に、「勉強はまとめてすればいいや」と、休みが長いだけに、遊び中心になる傾向があります。

学習習慣や生活リズムは、続けてこそ身に付くものです。2学期の学校生活が、スムーズにスタートできるよう、ご家庭での配慮をよろしくお願い致します。



子どもと話す機会を

最近、子どもが被害者になる事件が相次いでいます。また、様々な事件から生命軽視の風潮を感じてしまいます。

学校は、子どもが一人の人間として自立できるように実践を重ねていきたいといつも考えています。そのため、基礎学力の定着はもちろん、「命の大切さ」や「相手を思いやることの大切さ」に気付き、豊かな心が育まれるよう、様々な取組を行っています。連合音楽会や陸上記録会の時など、他学年の友達に励ましの手紙を出したり、地域の方に手紙を出したりしてきました。また、普段から一人一人の子どもと向き合って話をするようにもしています。

しかし、指導したからといって、子どもがすぐにできるわけではありません。子どもには子どもの世界があり、実際には色々なことが起こっています。悪口を言ったり、意地悪をしたり、乱暴な言葉遣いで相手を傷つけたりすることもあるのです。

学級で問題が起こった時、担任の先生は必ず指導し、された人の気持ちを考えさせます。「されてどんな気持ちだったのか。」「何が悪いのか。」「なぜ悪いのか。」「併せて、した人の気持ちも考えさせます。「なぜそんなことをしてしまったのか。」「同じことを繰り返さないためには、何が必要なのか。どうすればよかったのか。」「子ども自身に考えさせます。悪いときには、厳しく指導しますが、最終的には、子ども自身で考え、判断し、自分の考えをしっかりともち、自分の気持ちをきちんと相手に伝え、よりよく生きる人になってほしいと願っています。

だからこそ、教師や保護者など見守るべき大人が、子どもと真剣に向き合い、子どもの思いを聞くこと、そして相手の思いと一緒に推し量ることがとても大切なのではないのでしょうか。

「相手を思いやる心」が、人と人とのつながりを心地よいものにしていくものだと思っています。そして、そんな豊かな心があってこそ、学力向上に効果があると考えています。子どもと話すことは、教育(学校・家庭)で一番大切なことです。

もうすぐ夏休みです。ぜひ、この機会に時間をとって、子どもとじっくり話合ってみてください。思いやりの心を子どもに伝えるのは、私達、大人の役割です。



よい歯の学童表彰



6月の下旬に、「門司区よい歯の学童表彰」がありました。これは、歯科検診時に歯科校医さんが、よい歯の学校代表を6年生から選ぶものです。

本校からは、6年生の岡村 一輝君と小森 百夏さんが選ばれて出席しました。門司区内の代表の中で、二人とも一位になり

門司歯科医師会より表彰状が贈られました。おめでとうございます。

皆さんも、歯磨きをしっかりと、丈夫な歯にしましょう。

安全で有意義な夏休みを！

いよいよ20日から、長い夏休みが始まります。

6年生にとっては小学校最後の夏休み、1年生にとっては小学校最初の夏休みと、それぞれの学年で夏休みを迎える気持ちは違うことでしょう。いずれにしても、子ども達が楽しみにしていることには違いありません。子ども達やご家族の皆様にとって、有意義で思い出深い夏休みになることを願っています。

この夏休みは、家庭での生活が中心になります。1学期間、学校生活で学んだことを生かしながら、また、2学期の学校生活へスムーズにつながるように、以下の点にご留意しながらお子さんと話し合ってみてください。

① 「命は一つ！ 安全管理・健康管理を」

学校でも常々言っていることですが、安全に関しては十分にお話してください。交通事故で一番多いのは、飛び出しによるものです。夏休みに入り、遊ぶ時間が増えると思います。それに伴って、自転車に乗る機会が増えたり、家に帰る時刻が不規則になったりします。大人が思いもしないような事故が起きることも考えておかなければなりません。そこで、「自分の命は自分で守る」ことを言い聞かせてください。そして、そのためにはどんなことに気を付ければいいのかを子ども自身に考えさせてください。併せて、水の事故の恐さについてもお話しください。



また、暑い時期ですから冷たいものがほしくなります。冷たいものの摂り過ぎや食べ物の偏りは、体調を崩すものです。十分な休養と共にご留意ください。

② 「学習習慣・生活リズムは、続けてこそ身に付くもの」

お知らせ

7月1日より、講師の先生が1名配置されました。

樋口 裕加先生です。平成22年度に、短期間ですが本校にお勤めの経験がある先生です。水泳学習や校外学習の補助をしたり、出張等で自習になる学級のお世話をしたり、休み時間に子どもの様子を観察したりと、色々な場面で活躍してくださいます。どうぞ、よろしくお願い致します。